



平成 23 年 1 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社ヴィレッジヴァンガード  
コーポレーション

代表者名 代表取締役社長 白川 篤典  
( J A S D A Q ・ コード 2769 )

問合せ先

役職・氏名 取締役管理本部長 吉岡 敏夫  
電話 052-769-1150

## 平成 23 年 5 月期第 2 四半期累計期間業績予想と実績値の差異並びに 通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

平成22年7月16日に発表いたしました平成23年5月期第2四半期累計期間個別業績予想及び平成22年10月1日に発表いたしました平成23年5月期第2四半期累計期間連結業績予想と実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

また、最近の業績の動向等を踏まえ、平成23年5月期（平成22年6月1日～平成23年5月31日）の通期の業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成23年5月期第2四半期累計期間業績予想と実績値の差異

(1) 連結業績予想と実績値の差異（平成22年6月1日～平成22年11月30日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	18,229	1,122	1,124	448	円 銭 11,651 61
今 回 の 実 績 値 ( B )	18,484	1,401	1,433	566	14,726 84
増 減 額 ( B - A )	254	279	308	118	
増 減 率 (%)	1.4	24.9	27.4	26.4	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成22年5月期)	16,903	1,347	1,375	761	19,802 12

## (2) 個別業績予想と実績値の差異 (平成22年6月1日～平成22年11月30日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
					円 銭
前回発表予想 (A)	17,026	1,056	1,083	448	11,667 89
今回の実績値 (B)	17,185	1,272	1,323	539	14,031 62
増減額 (B-A)	159	215	239	90	
増減率 (%)	0.9	20.4	22.1	20.3	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成22年5月期)	16,098	1,303	1,347	733	19,080 74

## 2. 通期業績予想の修正

## (1) 平成23年5月期の連結業績予想(平成22年6月1日～平成23年5月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
					円 銭
前回発表予想 (A)	39,410	2,742	2,746	1,282	33,336 68
今回修正予想 (B)	39,678	3,055	3,088	1,420	36,927 46
増減額 (B-A)	267	313	342	138	
増減率 (%)	0.7	11.4	12.5	10.8	
(ご参考) 前期実績 (平成22年5月期)	36,649	3,305	3,356	1,832	47,627 33

## (2) 平成23年5月期の個別業績予想(平成22年6月1日～平成23年5月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
					円 銭
前回発表予想 (A)	37,127	2,706	2,758	1,328	34,531 04
今回修正予想 (B)	37,350	2,970	3,045	1,450	37,704 54
増減額 (B-A)	223	263	287	122	
増減率 (%)	0.6	9.7	10.4	9.2	
(ご参考) 前期実績 (平成22年5月期)	34,994	3,289	3,373	1,826	47,478 59

### 3. 平成 23 年 5 月期第 2 四半期累計期間業績予想と実績値の差異及び通期業績予想の修正理由

#### (第 2 四半期連結累計期間)

当社グループは、いままで世の中になかった独創的なワン・アンド・オンリーの空間をお客様に提供し続けることにより、「モノを買う」という小売の行動から「モノを買うという行為そのものの楽しさ」をお客様に提供することを目指しております。

この方針のもと、当社では、前第 4 四半期連結会計期間より自店を持たない専任エリアマネージャー制度を導入し、お客様にとっての楽しさを現場が自ら考え、独自に提案していく力を引き出すため、よりきめ細かい指導を行ってまいりました。また、「社内問屋」の役割を果たす営業推進部の 2 チーム化で、商材開拓や店舗への提案力などチーム間で競わせ、店舗における商品バリエーションの増加、売り場の活性化を図ってまいりました。

その結果、平成 22 年 7 月において、既存店売上高前年比が 17 ヶ月ぶりに 100% を超え、当第 2 四半期連結累計期間では 100.2% の結果を出すことができました。

また、連結子会社チチカカは、既存店売上高前年比が継続して 100% を超えており、当第 2 四半期連結累計期間では 116.7% と堅調に推移しております。

これらの結果、売上高が前回予想を上回りました。利益面につきましては、当社及び連結子会社チチカカの売上高の増加による影響のほか、当社における棚卸ロス改善活動の推進と継続的な販売費及び一般管理費の見直しにより、前回予想を大幅に上回ることとなりました。

#### (通期)

通期の連結・個別業績予想につきましては、第 2 四半期までの業績と状況を勘案し、下期計画の見直しを検討した結果、上記のとおり修正いたします。

### 4. 配当予想の修正

基準日	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
前回予想 (平成 22 年 10 月 1 日発表)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 1,400.00	円 銭 1,400.00
今回修正予想	—	0.00	—	2,800.00	2,800.00
当期実績	—	0.00			
前期 (平成 22 年 5 月期) 実績	—	0.00	—	2,800.00	2,800.00

## 5. 配当予想の修正理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元の設定は経営の最重要事項として認識し、将来の事業展開を考慮しつつ、内部留保の充実により企業体質の強化を図りながら、安定した利益還元を株主の皆様へ行うことが重要であると考えております。

前期において、当社は、株主の皆様を始め、関係各位のご支援により、当社直営店が300店舗を達成したことに伴い、記念配当として、1,400円を普通配当に付加し、合計2,800円の配当を実施してまいりました。今期も、業績が堅調に推移することが見込まれることから、皆様のご支援に応えるため、期末配当金を当初予想の1株当たり1,400円から2,800円に増配することといたしました。

※上記業績予想等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上